

2026 年度前期 授業評価アンケート 報告書

2026 年度前期 授業評価アンケート実施結果

貞静学園短期大学 FD 委員会

1. 授業評価アンケートのねらい

本学の授業評価アンケートは、授業改善を目的のひとつとして実施するものである。
授業に対する教科担当と学生の互いの理解を深めることをねらいとする。

2. 調査対象者

本学在籍の全学生

3. 調査期間

2 年生：2026 年 9 月 7 日～9 月 11 日

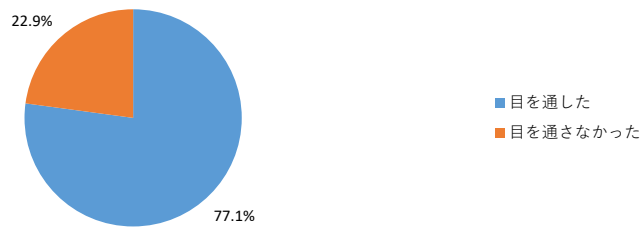
4. 調査方法

Microsoft Forms にて回答（無記名式）

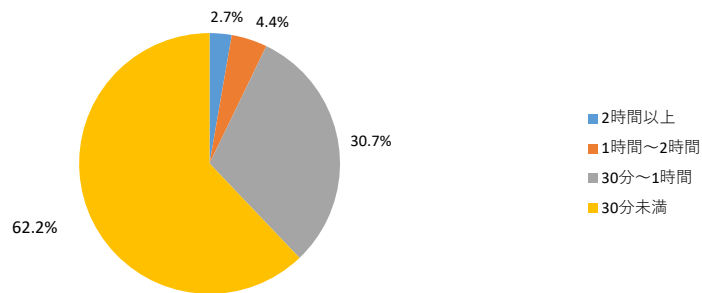
5. 回答率

学年	学生数	科目数	対象数（名）	回答数（件）	回答率
2 年	25 名	22 科目	371	293	79.0%

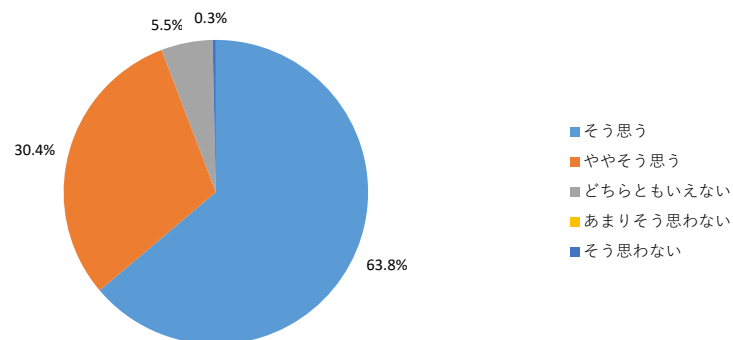
Q1. あなたは授業の最初に担当教員が説明したシラバス（授業の全体計画を示したもの）に目を通しましたか。



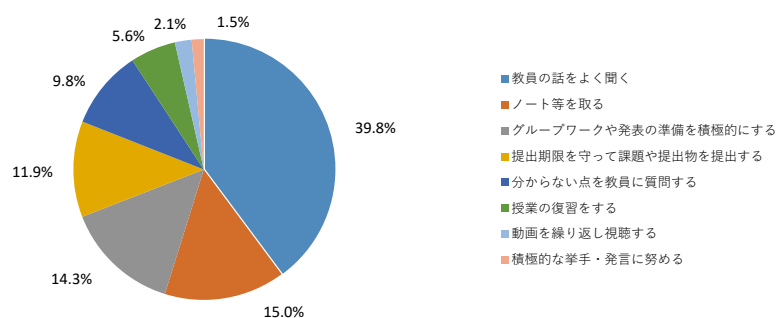
Q2. あなたは週にこの授業の予習・復習（課題・練習を含む）をどれくらいしましたか。



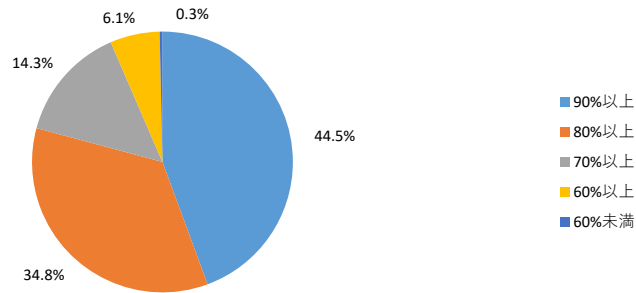
Q3. あなたはこの授業に積極的に参加しましたか。



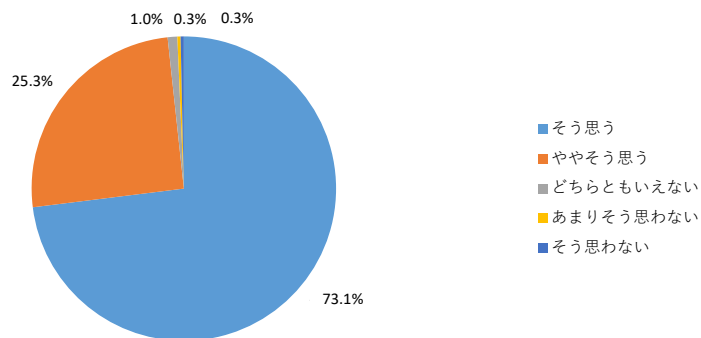
Q4. あなたがこの授業で力を入れたことを3つ以内で選択してください。



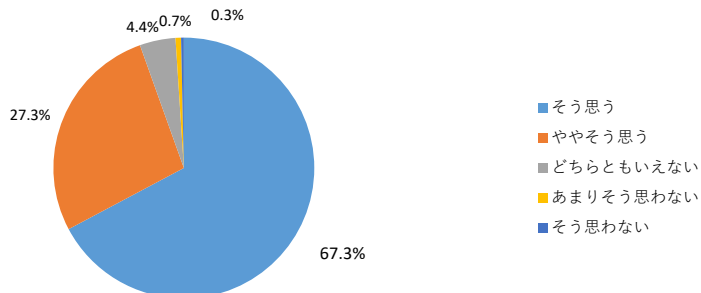
Q5. あなたはこの授業で示された到達目標がどれくらい達成できたと思いますか。



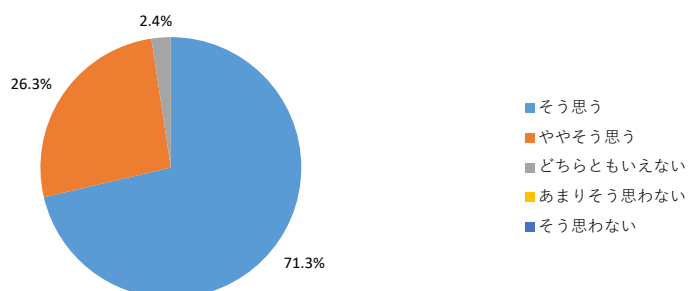
Q6. 教員は熱意をもって取り組んでいた。



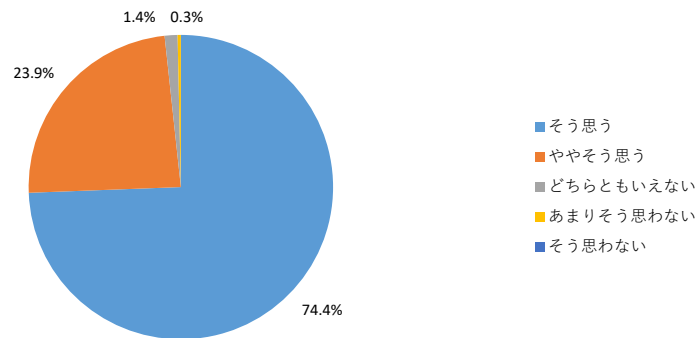
Q7. この授業はシラバスに沿って学習目標を明確にしてから行われていた。



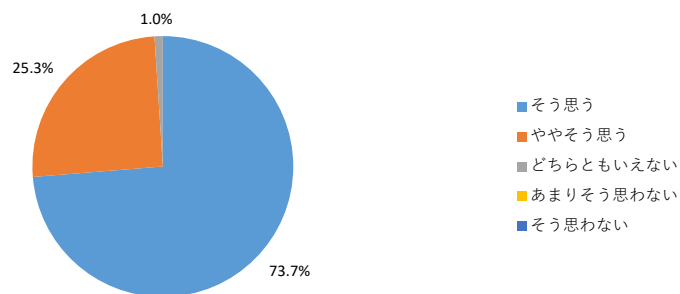
Q8. この授業の配布資料やテキスト等は参考になるものだった。



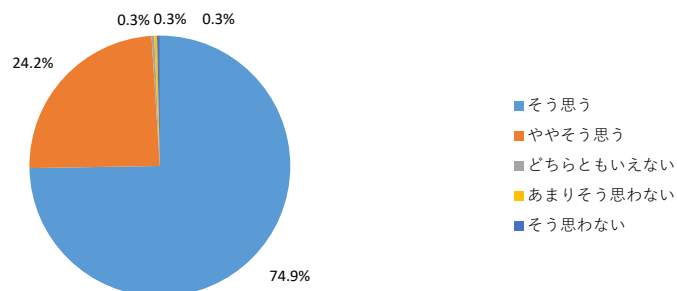
Q9. 教員は学生の興味・関心をかきたてていた。



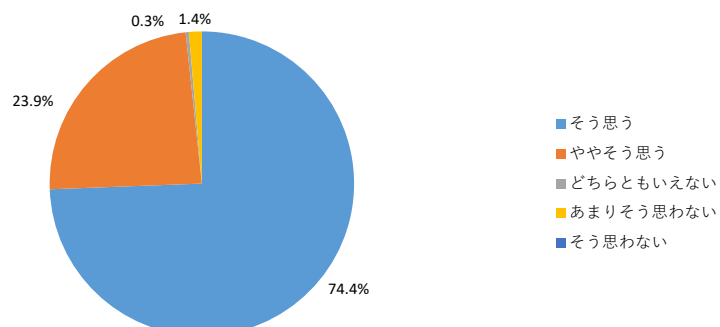
Q10. 対面授業での講義や実演（学生の発表を含む）は効果的であった。



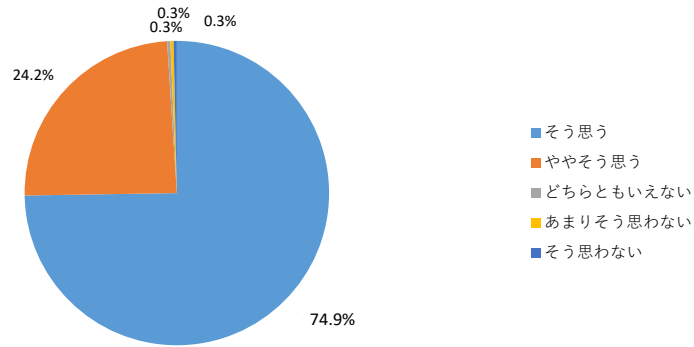
Q11. 対面授業の学生が質問や意見を述べられる雰囲気だった。



Q12. 対面授業の進む速さは適切だった。



Q13. 対面授業の学習量は適切であった。



Q14. Teamsによる課題提出や動画を視聴して感想を書くなどの授業が自分のためになった。

